

北九州工業高等専門学校	開講年度	平成28年度(2016年度)	授業科目	代数幾何I
-------------	------	----------------	------	-------

### 科目基礎情報

科目番号	0004	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	総合科学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	「新基礎数学」「新線形代数」大日本図書、「新基礎数学問題集」「新線形代数問題集」大日本図書		
担当教員	豊永 憲治, 宮内 真人, 後藤 宗治, 橋永 貴弘		

### 到達目標

#### ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

### 学科の到達目標項目との関係

#### 教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

#### 授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	整式の加減乗除の計算や、式の展開ができる。	3	
			因数定理等を利用して、4次までの簡単な整式の因数分解ができる。	3	
			分数式の加減乗除の計算ができる。	3	
			実数・絶対値の意味を理解し、絶対値の簡単な計算ができる。	3	
			平方根の基本的な計算ができる(分母の有理化も含む)。	3	
			複素数の相等を理解し、その加減乗除の計算ができる。	3	
			解の公式等を利用して、2次方程式を解くことができる。	3	

			因数定理等を利用して、基本的な高次方程式を解くことができる。 簡単な連立方程式を解くことができる。 無理方程式・分数方程式を解くことができる。 1次不等式や2次不等式を解くことができる。 1元連立1次不等式を解くことができる。 基本的な2次不等式を解くことができる。 恒等式と方程式の違いを区別できる。 2次関数の性質を理解し、グラフをかくことができ、最大値・最小値を求めることができる。 分数関数や無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。 簡単な場合について、関数の逆関数を求め、そのグラフをかくことができる。 無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。 関数のグラフと座標軸との共有点を求める能够在する。 累乗根の意味を理解し、指数法則を拡張し、計算に利用することができます。 指数関数の性質を理解し、グラフをかく能够在する。 指数関数を含む簡単な方程式を解く能够在する。 対数の意味を理解し、対数を利用した計算能够在する。 対数関数の性質を理解し、グラフをかく能够在する。 対数関数を含む簡単な方程式を解く能够在する。 三角比を理解し、三角関数表を用いて三角比を求める能够在する。一般角の三角関数の値を求める能够在する。 角を弧度法で表現する能够在する。 三角関数の性質を理解し、グラフをかく能够在する。 加法定理および加法定理から導出される公式等を使う能够在する。 三角関数を含む簡単な方程式を解く能够在する。 2点間の距離を求める能够在する。 内分点の座標を求める能够在する。 通る点や傾きから直線の方程式を求める能够在する。 2つの直線の平行・垂直条件を利用して、直線の方程式を求める能够在する。 簡単な場合について、円の方程式を求める能够在する。 積の法則と和の法則を利用して、簡単な事象の場合の数を数える能够在する。 簡単な場合について、順列と組合せの計算能够在する。 等差数列・等比数列の一般項やその和を求める能够在する。 総和記号を用いた簡単な数列の和を求める能够在する。 不定形を含むいろいろな数列の極限を求める能够在する。 無限等比級数等の簡単な級数の収束・発散を調べ、その和を求める能够在する。 ベクトルの定義を理解し、ベクトルの基本的な計算(和・差・定数倍)ができ、大きさを求める能够在する。 平面および空間ベクトルの成分表示ができ、成分表示を利用して簡単な計算能够在する。 平面および空間ベクトルの内積を求める能够在する。 問題を解くために、ベクトルの平行・垂直条件を利用することができます。 空間内の直線・平面・球の方程式を求める能够在する(必要に応じてベクトル方程式も扱う)。 行列の定義を理解し、行列の和・差・スカラーとの積、行列の積を求める能够在する。 行列の和・差・数との積の計算能够在する。 行列の積の計算能够在する。 逆行列の定義を理解し、2次の正方行列の逆行列を求める能够在する。 行列式の定義および性質を理解し、基本的な行列式の値を求める能够在する。 線形変換の定義を理解し、線形変換を表す行列を求める能够在する。 合成変換や逆変換を表す行列を求める能够在する。 平面内の回転に対応する線形変換を表す行列を求める能够在する。 簡単な場合について、関数の極限を求める能够在する。 微分係数の意味や、導関数の定義を理解し、導関数を求める能够在する。 導関数の定義を理解している。	3	
--	--	--	---	---	--

